

軌道 トンネル路盤コンクリートの健全度
構造物 診断手法の開発

篠田昌弘 窪田勇輝 坂本寛章 御崎哲一

鉄道トンネルでは、維持管理の省力化や乗り心地の確保等を目的としてスラブ軌道が採用されている箇所がある。このようなスラブ軌道では、路盤コンクリートにより上部軌道を支持するため、想定以上の変状が生じた場合にはその対策に多大な労力と費用が必要となる。路盤コンクリートの変状に対しては目視による検査の他、路盤コンクリート直上からボーリングを行い直接確認するなどが採用されているものの、定量的に路盤コンクリートの健全度を評価する手法は確立されていない。そこで、本研究では、起振器を用いて路盤コンクリートを直接加振し、路盤コンクリートの揺れやすさを評価する路盤コンクリートの健全度診断法を提案した。

